

報道機関各位

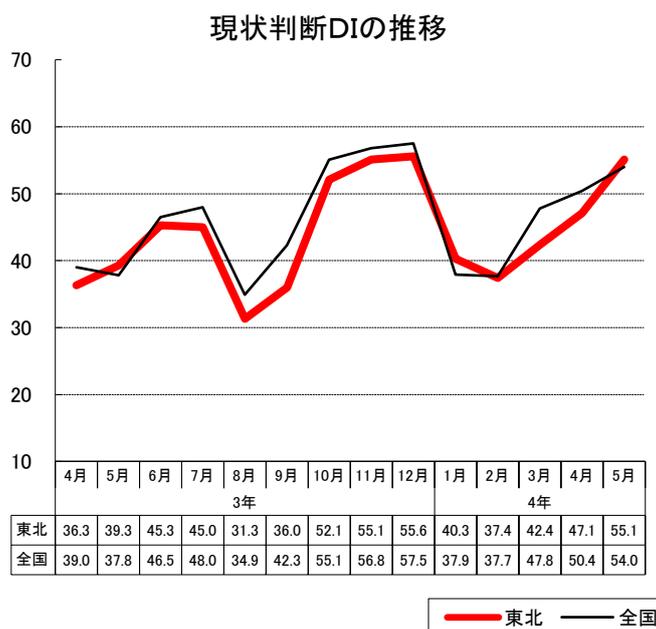
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年5月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年5月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

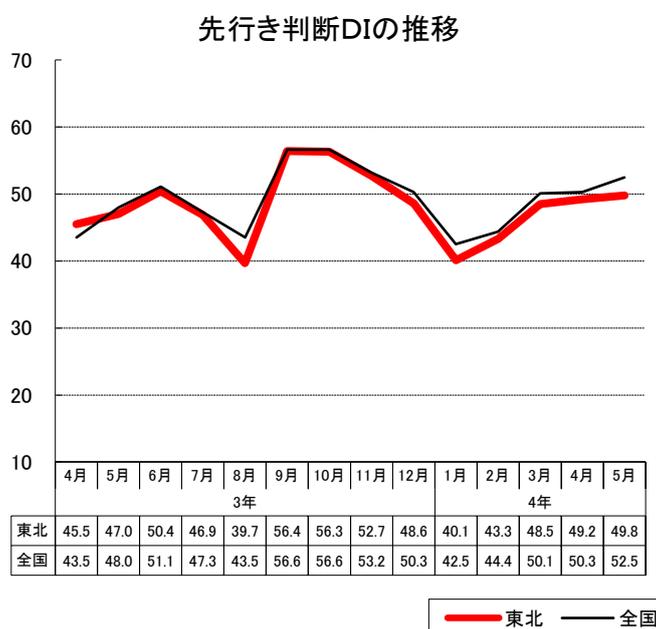
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「55.1」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+8.0ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

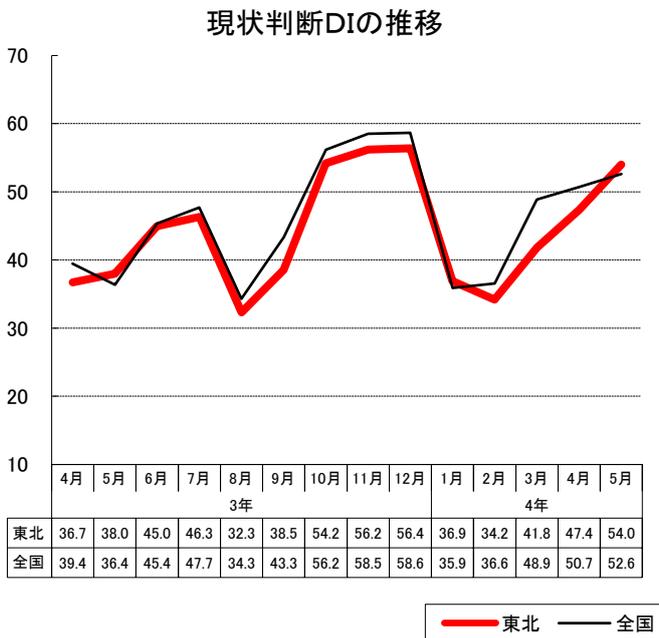
先行き判断DIは「49.8」と4か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.6ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「54.0」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+6.6ポイント上昇した。



○家計動向関連…タクシー運転手、競艇場の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、乗用車・自動車備品販売店、旅行代理店、百貨店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「54.6」(+7.8)と、3か月連続で前月を上回った。

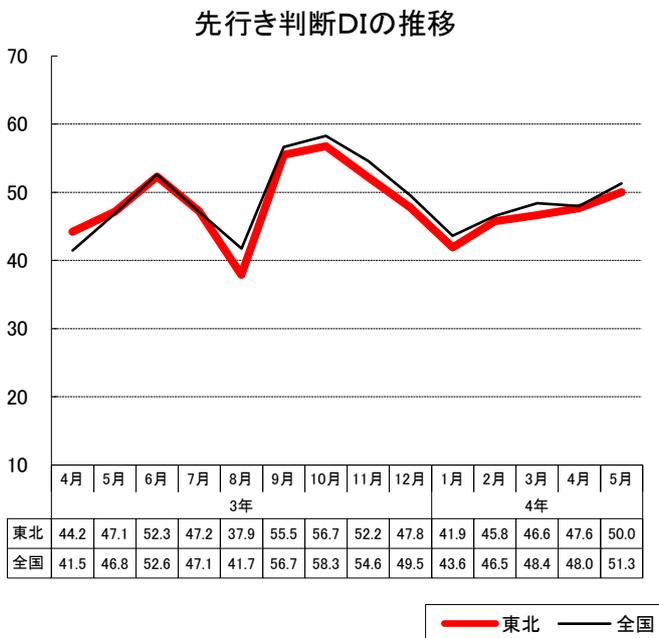
○企業動向関連…広告代理店・広告業協会、コピーサービス業、食料品製造業等の業種でDIが前月を下回ったが、出版・印刷・同関連産業、金融業、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「51.4」(+4.3)と、3か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「55.3」(+4.0)と、2か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「50.0」と4か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.4ポイント上昇した。



○家計動向関連…通信会社、一般小売店、旅行代理店等の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、一般レストラン、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「49.1」(+2.1)と、4か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業、輸送業、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、建設業、その他非製造業[飲食料品卸売業]、コピーサービス業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「47.1」(±0.0)と、前月から横ばいとなった。

○雇用関連…DIは「60.5」(+7.9)と、4か月連続で前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	3年										4年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北現状	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4	36.9	34.2	41.8	47.4	54.0	
家計動向関連	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4	33.6	31.0	42.5	46.8	54.6	
企業動向関連	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6	40.0	38.6	40.0	47.1	51.4	
雇用関連(参考)	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5	51.3	46.1	40.8	51.3	55.3	

（2）先行き判断D I

	3年										4年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
東北先行き	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8	41.9	45.8	46.6	47.6	50.0	
家計動向関連	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7	40.9	45.1	46.4	47.0	49.1	
企業動向関連	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5	45.0	47.9	45.0	47.1	47.1	
雇用関連(参考)	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2	42.1	46.1	51.3	52.6	60.5	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年5月25日～31日

回答者数 169/189 名、回答率 89.4%（全国 1,831/2,050 名、89.3%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（その他専門店[靴]）…学校行事や祭り等が再開されており、外出する機会が増えたためか需要が増えている。

しかし、ガソリン価格の高騰や各種値上げで、遠出よりは近場で済ませている感じがある。

（一般レストラン）…コロナ禍で客がなかなか戻らなかったが、ゴールデンウィークを中心に客が多少回復している。2019年実績にはたどり着いておらずまだまだ少ないが、方向性としては徐々に客が戻ってきている状況である。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…行動制限がなくなったことで人の動きが活性化している。ゴールデンウィークだけでなく、その後の日常消費、特に外食の分野において顕著に回復がみられる。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…特にゴールデンウィーク期間中は県外からの客が増え、久しぶりにファッション領域の商品も活発に動いた。また、資産価値の高い高額商品の動きは引き続き良く、全体的にリベンジ消費とも読み取れる動きがみられた。

（コンビニ）…新型コロナウイルスの影響は依然あるが、人は動き始めているようである。ゴールデンウィークも3年前には戻らないが、ある程度近い売上まで戻りつつある。特に週末の来客数が上がってきているので、やっと今後の経営に光が差してきた。

（衣料品専門店）…ウィズコロナが定着し、冠婚葬祭の需要が活発になってきている。また、会議、出張が回復したことで、ビジネス衣料の需要も増えてきている。

（住関連専門店）…受注量が増加している。

（高級レストラン）…来客数が倍増している。

（観光型旅館）…ゴールデンウィーク中の来館数は、新型コロナウイルス発生前の2019年並みであった。通常、ゴールデンウィーク後の平日は来館数が下がるが、今年に限っては40%を月末まで維持している。新型コロナウイルス発生前よりも高い水準を維持している。

（旅行代理店）…個人旅行は国内近場よりも遠方を希望する客の方が増加傾向にある。海外は様子見の状況である。団体旅行は月に数件程度ではあるものの動き出している。

（美容室）…気候も良くなってきたので、2月頃と比べると景気は良くなっている。

（その他サービス[自動車整備業]）…来店客を含めて人の動きが戻ってきているため、販売件数、販売額共に3か月前よりも増加している。

（その他住宅[リフォーム]）…住宅設備機器はビルトインコンロ、給湯器の交換工事が増えている。リフォームは資材、商品の納品遅れにより工事が減っている。

（食料品製造業）…売上は前年比で約160%と伸びているが、新型コロナウイルス発生前と比較すると80%程度の回復である。明るさは出てきたが、原材料・資材費・エネルギーコストが上がり、利益では非常に厳しい。一部商品を2月に値上げしたが、年内に再度の値上げをしないと厳しい状況である。

（建設業）…大型公共工事の受注を獲得している。

（金融業）…諸原料高・コスト高の影響で生産・製造業者の収益環境変化が懸念されるが、コロナ禍による心理的抑制が緩和されており、観光・宿泊も含め市中の消費動向は強めに推移している。

○「変わらない」

（商店街）…夏に向けて祭りやイベントの開催等、日常生活が少しずつ戻りつつあるが、電気・ガスの料金値上げや、原材料の価格高騰による食料品の値上げ等により消費意欲が減退している。

- (スーパー) …1品単価の上昇分で客単価が上がり、売上前年比は101.3%になっている。しかし、来客数はゴールデンウィークが不振で、その後も伸びがないことから前年比98.6%と不振である。
- (家電量販店) …故障のための買換え需要は顕著にあるが、新しいものや話題の商品は売れていない。エアコンなどの白物家電は前年並みである。
- (乗用車販売店) …受注は例年どおりに推移しているものの、メーカーの生産状況は部品の供給不足により数か月変化がない。新車在庫台数が減少しており、売上は遅れている。
- (通信会社) …コロナ禍やウクライナ情勢などにより、客の設備投資意欲に変化はみられない。
- (出版・印刷・同関連産業) …受注単価の値上げ交渉真ただ中であるが、原材料の3度目の値上げが提示されるなど、利益率が縮小する一方である。交渉すればするほど受注量減少につながる等、ダブルパンチからトリプルパンチの影響がある。
- (人材派遣会社) …目先だけではなく、数年後を見据えた採用も一定ニーズあるなど、募集背景が多様化することで求人数は増え続けている。
- (新聞社[求人広告]) …宿泊施設関連の出稿が徐々に増えてきているが、業種全体として上向いてきた実感はまだない。

○「やや悪くなっている」

- (タクシー運転手) …ゴールデンウィークが間に入ったこともあり、3月に起きた地震の被害調査の仕事が全部終わっていないため、仕事量は他社も含めて思ったほど悪くなっていない。
- (競艇場) …利用者数に変化はみられないが、客単価が若干落ち気味になってきている。
- (広告代理店) …原材料価格高騰の状況が見通せず、消費が冷え込んでいる。
- (コピーサービス業) …主力のIT機器デバイスの入荷の遅れがまだ解消されておらず、例年の月販台数の3分の1の状態が続いている。近々解消される予定と聞いてはいるが、代わりになる商材でカバーできず苦戦を強いられている。
- (職業安定所) …求人数は前年と同等数となっているが、あらゆる物資が高騰しており、今後更に厳しさを増すという声が多い。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

- (観光型旅館) …新型コロナウイルスの感染状況も下火にあり、ウィズコロナが進んだようにも感じる。7～8月は夏休み期間なので、良くなるとみている。

○「やや良くなる」

- (コンビニ) …イベントも増加傾向にあり、来客数の動きが新型コロナウイルス発生前に近づいてきている。天候の状況にもよるが、今後の売上増加が期待できそうである。
- (住関連専門店) …お盆用品等の売上が見込まれるため、やや期待が持てる。自粛していた仏事・行事も少しずつ増えるとみられるので、景気もやや良くなるのではないかとみている。
- (一般レストラン) …人の流れが段々と出てきているようである。生活習慣も変わったと思うので、夜の飲食街で会社関係が戻るにはまだ時間が掛かるが、やや良くなるのではないかとみている。
- (旅行代理店) …6月10日より訪日旅行が条件付とはいえ再開されることが決まり、新型コロナウイルスの感染が再び悪化しない限りはやや良くなると予想する。また、2～3か月後は夏休みとなり通常であれば繁忙期に該当する。
- (食料品製造業) …各種値上げによる購買意欲の低下が心配である。しかし、イベントや夏祭りの実施が続々と決定しており、人の流れができることで、嗜好品である酒の消費も上向きになるのではないかとみている。
- (広告業協会) …夏に向けてのイベントが今後増えていく見込みである。この時期にGo To Travel

1 が再開となれば、消費意欲も活発となり、広告業界浮上の起爆剤となり得る。
(新聞社[求人広告])…海外客の受入れが進むと同時に、海外旅行への期待も出てきており、旅行関係の広告の問合せが増えてきている。
(職業安定所)…管内事業所の多くは、ウクライナ情勢や新型コロナウイルスによる海外のロックダウンで、資材の不足・価格高騰や流通の混乱を訴えてはいるものの、受注は堅調の様子で求人数を減らす事業所は少ない。また、卸・小売業や観光業もゴールデンウィークの行動制限解除やウィズコロナの追い風により、求人数を増やす事業所が散見される。

○「変わらない」

(商店街)…景気が良い感じはしないが、コロナ禍や物価上昇などに慣れてきている。
(一般小売店[酒])…マスク着用緩和等の報道を受け、ビアガーデンの開催などの話も今年は早期の段階で進んでいるので、これからの景気回復に期待をしたいところだが、ここに来て主要商品であるビールの値上げが決定した。各メーカーが順次実施すると予想しているが、これがどのような影響を及ぼすのか心配している。
(その他小売[ショッピングセンター])…景気は上向き気配があるものの、新型コロナウイルスの感染状況、ウクライナ情勢とまだまだ不安要素があるため現状維持とみている。
(電気機械器具製造業)…半導体開発は順調に推移しており、大きく状況が変化する要素は今のところ見当たらない。
(人材派遣会社)…原材料価格の高騰により、自動車関連企業や金属加工メーカーの経営が非常に圧迫されている。積極的に求人を行うという動きが若干弱くなっている。新型コロナウイルス感染症は落ち着いたがウクライナ情勢に少し不安があるので変わらないとみている。

○「やや悪くなる」

(その他専門店[白衣・ユニフォーム])…あらゆる物の値上げにより個人消費もかなり落ちている。この先新型コロナウイルスの感染が収まって、これからというときにこのインフレ状態はかなり危機的である。また、ウクライナ情勢や中国のロックダウンにより、我が国に商品が入ってこないなど、一層不安な状況になることも想定される。今後、飲食店や観光業も値上げラッシュになるとみられ、我々の業界への影響も続くとみている。
(通信会社)…今後、値上がりするものが更に増えることが予想されるため、製品が売れにくくなるとみている。
(建設業)…資機材高騰局面が継続しており、ウクライナ情勢に起因した資機材価格への悪影響が更に大きくなる見通しである。特に民間発注案件では資機材価格の高騰分を請負価格に転嫁する交渉が難航するケースがみられ、プロジェクトベースで採算が悪化する可能性が高い。
(輸送業)…新型コロナウイルス感染は若干落ち着いた感もあり、ゴールデンウィーク辺りから人流が増えている。物流も増えてほしいところだが、生活必需品等の値上がり品目が増えていることが影響しているのか、物の動きが良くない。主要製造業取引先の生産量もなかなか増えてこない。
(コピーサービス業)…毎月のように仕入先から値上げの案内が来ており、販売価格に転嫁できるか見通しが立たない。客が納得するよう丁寧に説明するしかない。マイナスの材料に変わりはない。

○「悪くなる」

(その他非製造業[飲食品卸売業])…現状の価格競争や原材料価格の高騰等を考えると、小さい業者はなおさら廃業に追い込まれるような状況になっており、どうしたらいいのか悩んでいる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上